

平成18年度第3回幹事会報告

平成18年10月3日
於：関西労災病院

【出席者】

幹事（井上智奈美、神山貴子、佐藤道子、寺澤裕子、増田 徹、松井美抄枝、若杉亜矢）、
オブザーバー（山室真知子）、
事務局長（林 伴子）

【各部からの報告事項】

■事務局（総務・会計・目録）

1. 会員異動

退会：西宮市立中央病院

施設長交代：松阪中央総合病院、高山赤十字
病院

担当者交代：耳原総合病院

2. 入会問い合わせ

吹田市民病院（来年度入会希望）

3. 医学情報サービス研究大会

第23回医学情報サービス研究大会千葉大会
（06/07/15～16千葉）に編集部から増田・松尾
両氏を派遣。

4. 複写依頼受付

統計調査部発行の「年次統計調査報告書」の
内容を複写したいという申し出があり、複写物
を渡した。複写内容は統計データのみとし、加
盟機関名が記載されている部分の複写は行って
いない。

5. 業務委託

今年度は委託見込み業務が運行している。来
年度からの検討を行う。

6. 会計

今年度分の会費請求送付作業は終了。会誌発
行費を支払う予定。研究助成金の支払いを行っ
た。

7. 目録 Web 版

会員からの問い合わせ窓口の検討を行った。

相談窓口には研修部が加わり、サポートチー

ムとして活動することについて検討した。

■研修部

1. 研修・勉強会開催報告

- 第111回研修会（2006年8月11日開催）

於：大阪ハイテクノロジー専門学校
参加者数：50名（会員44、非会員6）

- 第21回勉強会（2006年7月22日開催）

於：京都桂病院

参加者数：12名（会員11、非会員1）

- 第22回勉強会（2006年9月30日開催）

於：洛和会音羽病院

参加者数：8名（会員7、非会員1）

2. 今後の予定

- 第112回研修会（2006年12月1日開催予定）

於：関西労災病院（プログラム検討中）

- 第113回研修会（事例・研究報告会）

2007年3月京都にて開催予定

■会誌編集部

1. 会議など

9月2日（土）に第3回編集会議を藍野大学
中央図書館にて開催した。出席者は井上・寺
澤・松尾・若杉・増田各氏。第4回編集会議は
11月11日（土）に藍野大学中央図書館にて開催
予定。

2. 会誌編集の進行状況

26巻1号は発行済み。26巻2号は2校原稿ま
ち（9月末予定）。26巻3号は9月下旬締切で
9月末には業者へ入稿予定。

3. 連載予定

新連載として「図書館員のツボ」を企画。あ
る用語をとりあげ、その事について編集部で語
り合う。各部員持ち回りで下調べと執筆を行う。
とりあげる用語は、インパクトファクター（若
杉）、論文の種類（寺澤）、電子ジャーナル（増
田）、画像処理のポイント（井上）、著作権（松
尾）を予定。

4. 「What's EBM?」の単行本化

3校終了。12月までには発行する予定。発行

にあたり ISBN を取得（登録住所は事務局）。販促活動として、当協会ホームページに広告掲載を佐藤氏へ依頼、会誌への広告掲載、研修会などでの販売を行う。その他、「医学図書館」、「ほすびたるらいぶらりあん」への広告・書評を依頼する予定。

中山先生への謝礼については、出版物を50部進呈。執筆料または謝礼金は、次の編集会議で検討する。

■ホームページワーキンググループ

1. 活動報告

ホームページ掲載希望データは、佐藤氏へ提出後小田中氏が更新を行っている。

名簿は、会員名簿発行担当の寺澤氏よりデータを取得後一括で9月末に更新したが、今後、退会・入会などは随時更新する。その際、データは事務局または寺澤氏から報告される。

2. 今後の予定

当協会ホームページについてアンケートを作成し、利用度を調査する。

■統計調査部

統計調査項目の洗い出し作業中。違和感がある調査項目の変更および補足の追加を検討した（今回幹事会にて変更・修正することに決定）。

回答の送付は、メールまたは郵便を想定している。郵便の場合、封筒や送料などの負担を考慮し、アンケート用紙は現行の質問回答一体書式ではなく、回答用紙を別に作成する。

調査依頼は10月中旬を予定（調査対象機関は正規会員のみ）。

[協議決定事項]

1. 近畿病院図書室協会蔵雑誌目録 Web 版（以下、目録 Web 版）上の機関情報管理・名簿管理

会員の異動情報の把握は、事務局を通し名簿担当へという流れだが、目録 Web 版が稼動し同システム上で機関情報の変更が可能となり新

たな流れが発生した。今後は、目録 Web 版上の機関情報の変更報告を事務局長の林氏と目録担当の寺澤氏へ送付することで、機関情報の流れを一本化する。山室氏は、これらのことが可能かどうかをサンメディアに確認する。

利便性を考え、今後2～3年は会員名簿（冊子体）の発行を続け、その後再検討する。

各名簿（冊子体、ホームページ、目録 Web 版）の記載項目は次回幹事会にて検討する。

2. 目録サポートチームの設置

目録 Web 版に関する会員からの相談窓口として、目録サポートチーム（Web ワーキンググループから改称）を設置する。チームのスタンスは、決定権は持たず目録担当のサポートに徹するものとする。メンバーは、目録担当の山室氏をチームリーダーとし、現研修部を中心に構成する予定。

目録サポートチームは、以下の活動を行う。

- 目録 Web 版に関する会員からの質問を受け付ける。簡単な内容であれば、サポートメンバー個人の判断で回答。個人での回答が難しい場合は、チームで検討しリーダーの山室氏が検討結果を回答する。個人の判断で回答したものに関しては、チームにも周知し齟齬が無いようにする。
- 書誌事項および所蔵データのチェックを行う。不備があれば変更を要請する。
- 目録 Web 版の仕様について、変更や提案事項がある場合は、チームにて検討する。費用が発生する変更であれば、幹事会に諮り決定する。費用が発生しない変更であれば、メールなどにより幹事会の了承を得て実行する。現状での検討課題は以下の通りである。
- Web 版目録上の機関情報項目の再検討（公開フラグ、ILL フラグなど）。
- ILL 書式の統一についての検討。
- 会員からの変更希望の検討。
- Q & A 専用掲示板もしくは目録 Web 版上でブログ形式の Q & A の検討（佐藤氏は既存

の掲示板：KHLA Forum とは異なる旨の注意書きを掲載する)。

- 医中誌から OPAC へのリンクの説明の検討。
 なお、目録 Web 版ホーム画面での問い合わせメールの宛先を、サンメディア大西氏からチームリーダーの山室氏に変更する。大西氏からのメーリングリストは、今後目録サポートチームメンバーのみとする。

3. 目録 Web 版の今後の予定

- ILL 書式：中村氏の作成した ILL 書式を幹事会にて検討。幹事会で検討した変更内容を中村氏（目録サポートチーム）に差し戻し、再検討を依頼。
- 範例および規約：山室・林両氏で素案を作成。目録サポートチームで検討後、幹事会にて決定する予定。
- ログ：既出のロゴを見本または投票対象とし、目録 Web 版解説送付の際にアンケートを同封する。または、当協議会ホームページ上か目録 Web 版上で募集する。
- 保守契約：全 8 条からなり保守期間は 1 年間。未承認のため、次回幹事会にて検討する。

4. 講師・執筆者謝礼金額の改定

現行の講師への謝礼は相場に合わないとの懸念から、講師料の改定を研修部より提案。2 案を策定し幹事会にて検討。会誌編集部での執筆料との兼ね合いも考え、提案を研修部に差し戻

す。また編集部へ執筆料改定の検討を依頼。両部にて検討後、再度幹事会に諮る。

5. 施設使用料について

現行では、会員施設使用時の料金は請求が無かったが、近年では使用料を請求する施設も現れた。公平を期するため「施設使用願い」に「なお、経費等につきましては別途ご請求くださいますようお願い申し上げます。」の一文を加える。

6. 研修・勉強会資料の配布について

研修・勉強会参加者への配布資料は、これまで参加者のみに配布されてきた。遠隔地などの事情により参加したくてもできない会員の存在を考慮し、配布資料の送付と、その際の資料の散逸を防ぐため「近畿病院図書室協議会 研修部」専用バイндターの製作を研修部より提案。

幹事会では、費用や送付の手間を考慮し、資料の送付ではなくホームページ上での公開が検討された。サーバーの容量に問題は無いが、ホームページの認知度・利用度が低いかもしれないとの懸念が浮上した。

専用バインダーと資料送付については、費用の見積を研修部に依頼し、再度幹事会にて検討する予定。

第 4 回幹事会は 1 月中に開催予定（会場未定）。